

## 令和3年度 第2回 情報エンジニア科 学校関係者評価委員会

### 【出席者】

学校関係者評価委員（敬称略 順不同）

大音 和豊	株式会社モノプラス（委員長）
小森 望充	国立大学法人九州工業大学
吉田 剛	株式会社ベルチャイルド
秋山 英作	大日通信工業株式会社
佐々木 啓	久米電気株式会社

学校関係者

木村 誠	学校長
上田 良和	司会 教育改善ユニット・電気設備科班長
松本 哲也	情報エンジニア科・総務事務ユニット班長
小堀 亮也	情報エンジニア科主任
中本 智	就職指導ユニット主任

【日時】 2022年3月15日 13時00分～14時00分

【場所】 大阪電子専門学校 3階 コワーキングスペース

【議案】 1. 教育方針案 報告及び質疑応答  
2. 自己評価結果 報告及び質疑応答

### 【議事録】

#### 1. 教育方針案 報告及び議論

職業実践課程が要件満たさずで、今年度も申請できなかった。来年度以降、申請できるよう努力していく。

#### 2. 自己評価結果の報告及び質疑応答

当校の掲げている「人技両立」の校訓のもと、技術面だけでなく人格面についても指導を行っている。

情報システムの効率化について、グーグルスイート（現 Google Workspace）の導入など、現在進行形で改善に努めている。KISS 構想と銘打ち、全学的な教育と業務を一体化したシステムの構築に取り組んでいる。

業界のニーズを調査し、それぞれの学科で必要だと考えられる、教員の技術研修を今後も行っていく、AI・IoT 時代にふさわしい教育とは何かを念頭に置き、研修計画を立案していく。

自主学習スペースは、今回のコロナ感染症対策のために開放できなかったが、学生から利用したいという声が出ており、来年度には学生が積極的に活用できるようにしたいと考えている。

今年度に関しても残念ながら、コロナの影響が色濃く出た教育活動となったが、当校としてできる限りオンライン授業をしっかりと実施し、校内感染者を出さず、教育活動と感染予防を両立できたのではないかと考えている。

卒業制作の授業について、上級生の制作物や発表を見ることは学生にとって大いに刺激になり、学生の質を上げるために自ら学ぶことのできる環境が大事とのアドバイスをいただきました。

当校より、卒業制作の授業に関して、「学生の熱量の差が大きく、そういう状態で何を作っても良いという方法だと、路頭に迷う学生が出る。テーマを与えるなど、方法を工夫している。」という報告を行ったところ、「熱量が低い学生をグループワークで引っ張り上げる方法や、学生同士で評価し合うという方法はどうか。」と委員よりアドバイスをいただきました。